



白石村役場（大正時代）

明治35年、二級町村制施行により白石村・上白石村が合併し、村議会・村長制に移行、白石村47番地（現在の本通1丁目）にあった白石村・上白石村戸長役場を廃して白石村役場を開設した。写真は、大正時代のもの。



宇都宮牧場（大正3年）

宇都宮仙太郎は明治35年、上白石（現在の菊水1～3条3～5丁目付近）にサイロなどを持つアメリカ式の牛舎を建て有畜農業・酪農業の草分けとなった。これにより白石は北海道の先進農業の発信地となった。



札幌遊廊（大正12年）

大正7～9年に薄野から現在の菊水2～5条の1・2丁目に移転した札幌遊廊は通称白石遊廊と呼ばれ、白石の市街化に重要な意味を持った。その後、昭和33年に売春防止法完全施行で姿を消すことになった。



国道12号（大正9年）

白石の発展とともにあったこの道路は、道幅が現在の半分であったが、入植当時から人々や馬車が往来する中心道路であった。写真は、現在の環状線から厚別方面に向けて写したもの（現在の本通1丁目付近）。

西暦	年号	月	主な出来事
一九八八	一一	十二	主に白石産レンガを使った道庁庁舎が完成
八九	一一	十一	札幌―白石―江別間の江別道路（現国道十二号）が開通
九〇	一一	十一	東橋が完成し、札幌への往復が便利になる
九一	一一	十	米里に本城春蔵らが入植し開拓が始まる
九二	一一	十	札幌に電灯がつく
九三	一一	十	上白石稲作試験場が設立
九四	一一	十	豊平外三ヶ村聯合用水組合設立
九五	一一	八	逆川に米里水門設けられる
九六	一一	八	中澤八太郎が川下地区で暗渠排水による水田を始める
九七	一一	四	白石・上白石両村戸長役場が四七番地（現本通一丁目南の白石連絡所付近）に置かれる
一九〇二	一一	二	白石・上白石両村の戸数1,203戸、人口4,694人
			白石郵便受取所が開設される
			白石村は上白石村を合併、二級村となる
			「酪農の父」とよばれた宇都宮仙太郎が上白石に宇都宮牧場を開設する
			白石駅開業
			独立歩兵大隊が白石駅前から連隊通を造る
			有島武郎が結婚して上白石二番地（現菊水一）に住む
			白石村青年団が結成される
			豊平渡船場（伴の渡し）設置
			白石―定山溪間に鉄道開通
			この年から大正九年にかけて札幌遊廊（通称白石遊廊）が薄野から移転
			白石村電灯組合ができ電灯がとれる
			一条大橋完成